

# 事前評価チェックシート

計画の名称： 三沢市の下水道における防災・安全対策の実現

事前評価	チェック欄
I. 目標の妥当性 上位計画等との整合性	
I. 目標の妥当性 1) 下水道事業計画に基づく施設整備は概成しており、今後は効率的な管理・運営を図ることとしているものであり上位計画との整合性はとれている。	○
I. 目標の妥当性 地域課題への対応（地域課題と整備計画の目標の整合性）	
I. 目標の妥当性 1) 効率的な管理・運営と地域住民の生活環境の改善及び公共用水域の水質保全を目標とした処理場・ポンプ場におけるストックマネジメント計画の目標を立てている。	○
II. 計画の効果・効率性 整備計画の目標と定量的指標の整合性	
II. 計画の効果・効率性 1) スtockマネジメント計画の目標達成に向けた定量的指標を設定している。	○
II. 計画の効果・効率性 定量的指標の明瞭性	
II. 計画の効果・効率性 1) 定量的指標はストックマネジメント計画を的確に捉えており、老朽化対策に適した指標である。	○
II. 計画の効果・効率性 目標と事業内容の整合性	
II. 計画の効果・効率性 1) 事業内容は持続的な下水道施設の管理・運営に係わる事業としており、計画の目標と整合している。	○
II. 計画の効果・効率性 事業の効果（要素事業の相乗効果等）の見込みの妥当性	
II. 計画の効果・効率性 1) 処理場・ポンプ場における機械・電気設備の長寿命化を推進し、同時に単独事業による整備を一体的に行うことにより、より一層の施設の維持管理・保全を図ることができている。	○
III. 計画の実現可能性 円滑な事業執行の環境（事業熱度、住民等の合意形成などを踏まえた事業実施の確実性）	
III. 計画の実現可能性 1) 地域毎に住民説明を行い、下水道事業計画に対する理解・協力を得て事業執行を図っている。	○
III. 計画の実現可能性 2) 地域毎に構成地域を対象とした下水道連絡協議会を設立し、下水道事業に対する理解・協力を得て事業執行を図っている。	○